

ほくたん^{だよ}便り

(お知らせ版)

2010(平成22年)8月発行

■編集／発行：北但行政事務組合
■組合構成市町：豊岡市・香美町・新温泉町

(仮称)北但クリーンセンター 用地の8割を確保!!

6月3日(木)に開催された第75回北但行政事務組合臨時会において、用地取得議案を上程、賛成多数により原案どおり可決されました。これにより、施設整備用地(公簿面積268,233.70㎡)の約8割(同212,628.00㎡)を取得しました。事業推進にご理解いただき、用地にご協力いただいた地権者の皆様方に対し、厚くお礼申し上げます。

また、相続手続き等に時間を要し、今回上程できなかったものについても、約15%(同40,498.00㎡)の用地については地権者の方の内諾を得ており、用地の約95%を確保できる見込みです。残り約5%の用地について、引き続きご理解いただけるよう努めてまいります。

なお、施設整備用地については、現在広域ごみ・汚泥処理施設整備検討委員会において、「環境学習と地域交流ができる新しい環境の創造」を基本理念に、「自然との共存・共生や、資源環境と環境保全について考える

体験と交流の場とする」を基本方針に、施設周辺整備のあり方について検討いただいております。また、啓発機能についても検討いただくなど循環型社会の実現に向けて、先進的な環境創造の取組みについても考慮した施設の建設に向けて計画が進められています。



(施設整備地上空より)

☆広域ごみ・汚泥処理施設整備検討委員会

現在整備を進めている熱回収施設及びリサイクルセンターを主体とした広域ごみ・汚泥処理施設の啓発機能(情報提供・学習の場、修理・再生の場など)等の整備計画や施設周辺整備のあり方等について検討するために設置されました。委員は学識経験者、地元選出者等の13名で構成され、この委員会で検討していただいた結果を施設整備に反映していくことにより、循環型社会の実現に向けて、先進的な環境創造の取組みについても考慮した施設の建設を目指します。

北但行政事務組合とは

広域ごみ・汚泥処理施設の設置及び維持管理並びに広域ごみ・汚泥の処理に関する事務を共同して処理するため、豊岡市、香美町、新温泉町の北但1市2町で組織する一部事務組合です。

1市2町人口 127,178人(H22.7.1現在)



「ほくたん便り」は、資源保護のため環境に優しいソイ(大豆)インキで印刷しています。

☆出来る限り小さな施設建設に向けたごみ減量化の取り組み

現在、施設建設に向けての用地取得交渉を行う中で、いまだご理解いただけない方からは、「ごみの減量化が先で施設建設はその後に行うべきである」との意見をいただいております。これは構成市町のごみの減量化の推進状況やその成果等についての周知がまだまだ不十分であるためと考えられます。

そこで、構成市町それぞれの取り組みとその成果等についてお知らせし、あらためてご理解・ご協力をいただきたいと思っております。

豊岡市

豊岡清掃センターへのごみの持ち込み量、過去最少を更新!!

豊岡清掃センター（旧北但清掃センター）への平成21年度ごみの持ち込み量が、平成2年度の清掃センター開設以来最少の28,374トンとなりました。開設以来最大だった平成12年度（42,917トン）に対して、**33.9%の減量化**となりました。

●市のごみ減量目標

豊岡市では年々増え続けるごみを減量するために、平成19年4月には豊岡市環境基本計画を策定し、平成12年度を基準年度として平成28年度までに25%のごみ減量目標を掲げました。その結果、平成20年度において目標が達成されました。

●ごみ減量の主な要因

ごみの減量化は、以下の取り組みの継続と、社会情勢の変化によるものと考えられます。



- ①ごみの6分別開始（H14.4から実施）
- ②ごみ処理手数料の有料化（H15.10から実施）
- ③清掃センターにおける不適正廃棄物持ち込み検査の徹底（H19.10から実施）
- ④市内の事業所訪問によるごみ減量キャンペーンの効果（H17.18年度に実施）
- ⑤ごみ減量の周知啓発による市民意識の向上
- ⑥住宅建築件数の減少に伴う解体廃棄物（木くず）の減少
- ⑦景気悪化に伴う消費の減少と人口の減少



香美町

みんなの力で、ごみはもっともっと減らせます

●香美町のごみの状況

矢田川レインボーへの平成21年度のごみ持ち込み量は6,542トンで、7,648トンだった平成18年度以降、**毎年約5%ずつ減少**しています。回収方法別においても、町がごみステーションで回収する計画収集ごみ及び矢田川レインボーへの直接持ち込みごみともに同様の減少傾向を示しています。

●ごみの減量化の取組み

○資源ごみ回収

香美町では、従前から月1回程度、資源ごみの回収を実施し、新聞、雑誌、ダンボールの比較的回収が進んでいる種類のほか、今年度からは紙箱、紙類、包装紙など、これまで多くが可燃ごみとして燃やされている「その他紙類」の分別回収について、チラシを配布し町民の皆さんへの周知徹底を図っています。

また、資源ごみの回収促進のため、町内各種団体が行う資源ごみ回収に対して、1キロ当たり2円（ビン類は1本当たり）の奨励金を交付しています。

○マイバッグ運動の推進

平成20年10月から町内のスーパーマーケットや商店等に協力を得て、レジ袋削減のためマイバッグ運動を実施しています。ポイントカードによる特典や店頭キャンペーンで呼びかけ、マイバッグ持参率が実施前の25%から半年後の平成20年度末には**40%を達成**し、早期に実績を伸ばすことができました。町民の皆さんに定着してきたものの、今後さらに持参率を伸ばしていくことが課題となっています。

○ごみ減量化推進会議

新たな取り組みで、ごみ減量化のための効果的な施策の実施に向けた協議の場として「ごみ減量化推進会議」



を立ち上げました。今年度は、可燃ごみの約3割を占める家庭や民宿などから排出される生ごみに着目し、自治会や各種団体から推薦を受けた町民代表の委員の皆さんの意見を集約し減量化施策に活かしていくこととしています。

○啓発活動

小学生や婦人会等の各種団体による矢田川レインボー施設の視察や、自治会や各種団体を対象にした出前講座を開催し、ごみ減量化の啓発を行っています。



新温泉町

たかがゴミされどゴミ…

新温泉町のごみの分別収集は平成12年度には4種10品目に、平成15年度には5種13品目に細分化し、各家庭、地域、事業所の理解と協力を得ながら本格的なごみの分別収集を推進し、ごみの減量・資源化に取り組んでいるところです。



新温泉町における平成21年度のごみの排出量は5,421トンでした。平成14年度(分別収集前) 6,803トンと比較すると1,382トン減少し、**減量化率は20.3%**と、大きく減少しています。この減少を現行のトンあたり経費で金額勘算すると**年間48,370千円の減額**となり“たかがゴミされどゴミ…”が強く感じられます。

また、平成21年度の排出内訳を見ますと生活系ごみは4,013トン、事業系ごみは1,408トンで、本町の各構成比は3:1となっています。

○資源ゴミ集団回収運動

分別をバックアップしているものの一つが住民団体による再生可能な資源ゴミ集団回収運動です。早くから奨励金制度を設置し、回収団体には奨励金を交付しています。奨励金は金属類、紙類及び布類について、回収重量1キロ当たり3円。平成21年度は25団体(53回実施)で886トン回収され、2,658千円を交付し、町づくり活動に活かされています。

○レジ袋削減運動

平成19年8月から身近な環境問題の取り組みとして、町内小売店に協力していただき、レジ袋削減運動を実施しています。買物の際、町作製のスタンプカードを持参した消費者がレジ袋を断った場合、レジ袋1枚につき、スタンプ1個を押してもらいます。スタンプが30個貯まったら役場で町指定ごみ袋(その他紙製容器包装用)2枚と交換できる仕組みです。平成22年3月末現在、ポイントカードの回収枚数は、4,235枚でレジ袋の削減枚数は127,050枚、レジ袋の製造に必要な石油の節約は2,325リットルとなります。この運動は、ごみの削減だけではなく、石油の節約や地球温暖化防止にもつながっています。



町内から排出されたごみは町クリーンセンター及びリサイクルセンターで安全かつ安定的に処理しており、この背景には施設周辺集落のご理解とご協力があります。

●構成市町における「ごみ量の推移」(単位:t)

市町名	年度	人口		収集計		直搬計		合計		原単位 (g/人・日)	
		実績	H12比	実績	H12比	実績	H12比	実績	H12比	実績	H12比
豊岡市	平成12年度	95,256		25,874		17,042		42,916		1,234	
	平成21年度	89,169	0.94	16,059	0.62	12,702	0.75	28,761	0.67	884	0.72
香美町	平成12年度	24,005		4,684		3,364		8,048		919	
	平成21年度	21,147	0.88	3,862	0.82	2,680	0.80	6,542	0.81	848	0.92
新温泉町	平成12年度	19,284		5,294		2,843		8,137		1,156	
	平成21年度	17,189	0.89	4,013	0.76	1,408	0.50	5,421	0.67	864	0.75
北但計	平成12年度	138,545		35,852		23,249		59,101		1,169	
	平成21年度	127,505	0.92	23,934	0.67	16,790	0.72	40,724	0.69	875	0.75

※収集計 = 計画収集ごみの合計値

※直搬計 = 直接搬入ごみ合計値

※原単位 = 一人当たりが1年間(365日)に排出するごみ量 (g)

備考・1t未満端数処理

・清掃土砂含む (H21豊岡市28,374トンは清掃土砂含まず)

☆より小さな施設建設を目指して!

ごみは着実に減っています。このまま減量化が進みますと当然現在の計画規模である174t/日については、施設建設直前にごみ量に適した施設規模に見直し、より小さな処理施設を建設することとなります。みなさまのより一層のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

◆第75回組合臨時会・第54回議員協議会

(平成22年6月3日)

土地取得・条例改正可決、生活環境影響調査結果報告

繰越明許費繰越計算書についての報告を行った後、広域ごみ・汚泥処理施設整備事業用地の取得、及び職員の育児休業等に関する条例改正について提案し、いずれも原案のとおり可決されました。

また、引き続き開催された議員協議会において、生活環境影響調査の結果についての報告を行いました。

☆第5 & 6回施設整備検討委員会開催

第5回（5月14日開催）では、生活環境影響調査書の縦覧についての報告後、施設周辺整備計画方針等について協議されました。

第6回（7月23日開催）では、生活環境影響調査結果の縦覧に係る意見書と用地取得の状況についての報告と協議後、啓発機能計画について協議されました。



第5回（5月14日開催）



第6回（7月23日開催）

☆(仮称)北但クリーンセンター設置に係る生活環境影響調査書の縦覧(5/25～6/24)と意見書の提出(5/25～7/8)について

縦覧	10人	意見書	12件
----	-----	-----	-----

施設建設地である竹野地域では、3会場において市民説明会を開催しました。

日時	地区	会場	参加人数
6月 7日、19:30～	竹野南	竹野南地区公民館	11
6月 9日、19:30～	中竹野	中竹野地区公民館	12
6月10日、19:30～	竹野	竹野総合支所大会議室	11



市民説明会（竹野地区）

☆新事務所について

豊岡市役所新庁舎建設に伴い、本組合も下記のとおり移転しました。
なお、電話番号・ファックス番号等については、従前のとおり変更ありません。

【移転日】

平成22年7月12日(月)より約3年間

【新住所】

〒668-0011 兵庫県豊岡市上陰178番地の1
TEL:0796-24-5504 FAX:0796-24-6650
E-mail:hokutan@gaea.ocn.ne.jp

ホームページを開設しています

北但行政事務組合では、ホームページを開設し、これまでの取組みや協議内容などを公開しています。下記のURL（ホームページアドレス）をご覧ください。
URL <http://www.hokutan.jp>

